

書記長集約

7名から発言があったが意見・質問に答えながら集約をした。

コロナ対策では職場でクラスターが発生するなど十分な対策ではない。また、社員は感染する疑いがある中でもエッセンシャルワーカーとして頑張っているが、JR最低の一時金月数など人件費を削減する一方で、株主配当は過去の剰余金から全額支払っており、社員のモチベーションは低下している。全体で議論し社員の不満の声を会社に伝えていく必要がある。コロナ禍の厳しい条件下でも、集まって議論することで得るものがあると思うので奮闘をお願いしたい。



○組織拡大について

最重要課題として取り組んできた。昨年は成果が出ていないが、下を向くことなくこれまでの取り組みに自信を持ち継続して行かなくてはならない。

九州本部も本部闘争指令一号を総括し、今後出される組織拡大方針について運動を強化していく。職場・分会が運動の生命線であり、職場の労働者の声を拾い上げて交渉に活かしていかなければならない。意見で出された地区本部の再編について、運動や交渉単位などどうするのか、各地区本部の意見を聞きながら議論していくことにしたい。

○安全安定輸送の問題について

JR九州は上場時に約束した鉄道のネットワーク維持から後退しローカル線の維持は困難としている。

甚大な被害を受けた肥薩線については何の議論もされていない。九州本部は2回の視察を行い、地元の人たちと意見交換をおこなってきた。現地に入り地元の要望を聞くことが重要であり、利用者の望む方向で復旧をしなくてはならない。

8月の豪雨災害について発言があったが各地で大きな被害を受けた。列車が水没するなど問題については、大会で出された意見を基に、今後申し入れをするなどして対応をしていきたい。

○労働条件改善の闘いについて

九月六日九日に労働協約と労働条件改善交渉を行うが、交渉委員だけでなく組合員からの後押しもお願いしたい。

○平和と民主主義の取り組みについて

この一年、菅政権は、自己責任のもと公助をないがしろにしてきた。今年には衆議院解散総選挙の年となる。立憲主義を取り戻すため、政党支持の自由は保障しつつ、反戦・平和・護憲の政党の前進を目指して奮闘していく。国労九州本部は大変厳しい状況下に置かれているが、長い歴史を持つ労働組合である。また分割民営化時に国労が指摘してきた地方ローカル線問題が、今まさに露呈している。公共交通機関であるJRに対し最大限のチェック機能を発揮し、安心で快適なサービスを提供させるため社員だけでなく、グループ会社も含めた労働条件の改善運動を強化していかなければならない。

○最後に、国労運動の発展と継承をさせていくためには、今行動することが大事だ。この間国労で頑張ってきた、最後まで国労で頑張ろうではなく、しっかりと次世代に運動を引き継ぐことが大事だ。安全安定輸送の確立、22年春闘の勝利に向けて共に闘い、労働者が主役の会社となるように国労九州本部もその先頭に立って奮闘することを約束し集約としたい。

<新役員紹介>

執行委員長	千々岩 隆	博多運転区
副執行委員長	古賀 正彦	博多車掌区
書記長	西山 泰三	南福岡運転区
執行委員	水流 彰	直方運輸センター
執行委員	原田 浩幸	久留米駅
執行委員	萩原 弘司	博多車掌区
執行委員	福崎 彰	直方運輸センター

※前岩元書記長は第90回定期全国大会で中央本部書記長に選出され新たな任についています。

がん治療を幅広く
まとめて保障するがん保険

NEW!
アフラックの
生きるためのがん保険
ALL-in

No.1 がん保険
国産標準
保険料約半額
令和3年度 インシデンス発生率全国統計
前年増額に1位増額のアフラックの確実な加入
(国産標準保険料を基準として)

「生きるためのがん保険Days1 ALL-in」は、がんに関する治療費に加え、治療関連費も幅広くまとめて保障する保険です(所定の支払事由に該当する必要があります)。

引当保険会社
「生きる」を創る。アフラック
東京第三生命保険株式会社
東京駅前西新町2-1-1 新館三井ビル19F
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658
P19437 AFR-16-2020-0009-2007029 2/93

■専業代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822